

発達心理学特論A			単位数	2単位
授業コード	M4020	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	湯澤 美紀			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達基礎論			
本授業の概要				
認知・自己意識・社会性・言語・遊びの多領域にわたる発達の様相を、論文・専門書講読を通して理解する。また、生活・学習場面で躓きを示す幼児・生徒に対する実際の支援例を学びながら、そうした子どもたちに向けた支援の可能性について、適宜、検討・議論する。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	多領域にわたる発達の様相を、乳幼児期・児童期・青年期・成人期にわたり縦断的に学ぶとともに、そこに見られる個人差について理解することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	発達心理学の知見を踏まえ、生活・学習場面で躓きを示す幼児・生徒に向けた援助計画の立案・評価ができる。			思考・判断・表現力／主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	レポートに関しては、論理性やオリジナリティを考慮して評価する。			1／2
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：自己意識の発達Ⅰ				
事前学修	授業の内容を整理するとともに、疑問や不明な点を明らかにし、批判的に考えたことを言語化し、まとめる。（事前・事後各1時間、総計30時間）			
事後学修				
第 2 回：自己意識の発達Ⅱ				
事前学修				
事後学修				
第 3 回：自己意識の発達Ⅲ				
事前学修				
事後学修				
第 4 回：遊びの原理				
事前学修				
事後学修				
第 5 回：遊びの発達Ⅰ				
事前学修				
事後学修				

第 6 回：遊びの発達Ⅱ		
事前学修		
事後学修		
第 7 回：社会性の発達Ⅰ		
事前学修		
事後学修		
第 8 回：社会性の発達Ⅱ		
事前学修		
事後学修		
第 9 回：言語の発達Ⅰ		
事前学修		
事後学修		
第 10 回：言語の発達Ⅱ		
事前学修		
事後学修		
第 11 回：認知・思考の発達Ⅰ		
事前学修		
事後学修		
第 12 回：認知・思考の発達Ⅱ		
事前学修		
事後学修		
第 13 回：発達障害		
事前学修		
事後学修		
第 14 回：発達障害と生活支援		
事前学修		
事後学修		
第 15 回：発達障害と学習支援		
事前学修		
事後学修		

発達心理学特論B			単位数	2単位
授業コード	M4030	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	湯澤 美紀			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達基礎論			
本授業の概要				
臨床発達の観点から、子どもの認知・言語・社会・情動の基礎的な発達理論を理解するとともに、そうした知見を、発達障害をはじめ多様な支援のニーズを有する子どもの支援に活かすことができる。				
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ワーク		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	臨床発達の観点から、子どもの認知・言語・社会・情動の基礎的な発達理論を理解することができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	基礎的な発達理論を、発達障害をはじめ多様な支援のニーズを有する子どもの支援に活かすことができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	レポートに関しては、論理性やオリジナリティを考慮して採点する。		1／2	
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：子どもの発達・保育における今日的課題				
事前学修	授業の内容を整理するとともに、疑問や不明な点を明らかにし、批判的に考えたことを言語化し、まとめる。（各1時間、総計30時間）			
事後学修				
第 2 回：子ども理解の多様なアプローチⅠ観察				
事前学修				
事後学修				
第 3 回：子ども理解の多様なアプローチⅡアセスメント				
事前学修				
事後学修				
第 4 回：子ども理解の多様なアプローチⅢインタビュー				
事前学修				
事後学修				
第 5 回：子どもの発達と個人差 言語				
事前学修				
事後学修				

第 6 回：子どもの発達と個人差 情動		
事前学修		
事後学修		
第 7 回：子どもの発達と個人差 社会		
事前学修		
事後学修		
第 8 回：子どもの発達と個人差 認知・思考		
事前学修		
事後学修		
第 9 回：現場における子ども理解と支援 保育園		
事前学修		
事後学修		
第 10 回：現場における保護者支援 保育園		
事前学修		
事後学修		
第 11 回：現場における子ども理解と支援 子育て支援		
事前学修		
事後学修		
第 12 回：現場における保護者支援 子育て支援		
事前学修		
事後学修		
第 13 回：現場における子ども理解と支援 療育		
事前学修		
事後学修		
第 14 回：現場における保護者支援 療育		
事前学修		
事後学修		
第 15 回：発達理論にもとづいた援助計画の立案		
事前学修		
事後学修		

試験等
最終レポート
試験のフィードバックの方法
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
オフィスアワー
水曜日3限
連絡先
yuzawa@m.ndsu.ac.jp
留意事項

大脳発達学特論			単位数	2単位
授業コード	M4090	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	林 泰資			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達基礎論			
本授業の概要				
脳の発生・発達、構造、機能を学ぶことにより、人間の知覚、運動、情動、記憶、言語などの機能の発達を理解する。本科目履修により、脳機能の先天的、後天的、可変的な要素を理解し、人間の精神身体機能に見られる多様性の多くは、発達過程における脳の適応の結果であることを講義から理解させる。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	胎児期から老年期に至るまでの脳の発達について理解する。知覚、運動、情動、記憶、言語などの人間が持つ機能と脳の発達の関係性について理解する。			知識・技能／思考・判断・表現力
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	課題レポート（80%）、質疑応答・受講状況（20%）などから総合的に評価する。			1／2
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間	
第1回：脳とは何か（脳の発生・発達）				
事前学修	事前に与えられた資料に目を通しておくこと。			
事後学修				
第2回：脳とは何か（脳の構造・機能）				
事前学修				
事後学修				
第3回：感覚機能の発達（視覚）				
事前学修				
事後学修				
第4回：感覚機能の発達（聴覚・平衡感覚）				
事前学修				
事後学修				
第5回：感覚機能の発達（嗅覚）				
事前学修				
事後学修				

第 6 回：感覚機能の発達（味覚）		
事前学修		
事後学修		
第 7 回：感覚機能の発達（体性感覚）		
事前学修		
事後学修		
第 8 回：脳・脊髄による運動制御		
事前学修		
事後学修		
第 9 回：脳と意識（感情）		
事前学修		
事後学修		
第10回：脳と意識（記憶）		
事前学修		
事後学修		
第11回：脳と意識（言語）		
事前学修		
事後学修		
第12回：脳と情報伝達（神経細胞のネットワーク）		
事前学修		
事後学修		
第13回：脳と情報伝達（神経伝達物質）		
事前学修		
事後学修		
第14回：脳と医療（脳の病気と障害）		
事前学修		
事後学修		
第15回：まとめ		
事前学修		
事後学修		

発達心理学演習 A			単位数	2単位
授業コード	M4140	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第 1 期
担当者氏名	湯澤 美紀			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達基礎論			
本授業の概要				
生涯発達心理学に関する理解を軸としながら、現代社会における人間の発達を取り巻く諸課題を、文献収集・講読・分析を通して明らかにする。それらの学びを踏まえたうえで、学生自らがリサーチクエッションを導出し、研究を計画する。				
アクティブラーニングの実施内容		問題解決型学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	学生は主体的な学びを通して、人間の発達を巨視的・微視的視点から分析・考察する能力を身につけるとともに、自らがリサーチクエッションを導出し、問題解決に向けた心理学的手法を具体的に計画することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	毎授業の発表内容やレポート、最終レポート（研究計画）に総合的に判断して評価する。 最終レポート（研究計画）7 0 %			1
2	発表内容・レポート3 0 %			1
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
1. 乳児期から幼児期：心理学的基盤と現代の社会環境における諸問題（1）文献収集				
事前学修	授業の内容を整理するとともに、疑問や不明な点を明らかにし、批判的に考えたことを言語化し、まとめる。（事前・事後各1時間、総計30時間）			
事後学修				
2. 乳児期から幼児期：心理学的基盤と現代の社会環境における諸問題（2）文献講読				
事前学修				
事後学修				
3. 乳児期から幼児期：心理学的基盤と現代の社会環境における諸問題（3）資料分析				
事前学修				
事後学修				
4. 乳児期から幼児期：心理学的基盤と現代の社会環境における諸問題（4）発表				
事前学修				
事後学修				
5. 学童期から青年期：社会的自立に向けた課題（1）文献収集				
事前学修				
事後学修				

6. 学童期から青年期：社会的自立に向けた課題（2）文献講読		
事前学修		
事後学修		
7. 学童期から青年期：社会的自立に向けた課題（3）資料分析		
事前学修		
事後学修		
8. 学童期から青年期：社会的自立に向けた課題（4）発表		
事前学修		
事後学修		
9. 成人期から高齢期：現代社会をよりよく生きるための諸課題（1）文献収集		
事前学修		
事後学修		
10. 成人期から高齢期：現代社会をよりよく生きるための諸課題（2）文献講読		
事前学修		
事後学修		
11. 成人期から高齢期：現代社会をよりよく生きるための諸課題（3）資料分析		
事前学修		
事後学修		
12. 成人期から高齢期：現代社会をよりよく生きるための諸課題（4）発表		
事前学修		
事後学修		
13. リサーチクエッションの導出（1）文献整理		
事前学修		
事後学修		
14. リサーチクエッションの導出（2）資料分析		
事前学修		
事後学修		
15. 研究の計画発表		
事前学修		
事後学修		

発達心理学演習B			単位数	2単位
授業コード	M4145	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	湯澤 美紀			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達基礎論			
本授業の概要				
生涯発達心理学に関する理解を踏まえたうえで、学生自らが導出したリサーチクエッションに対する問題解決に向け、研究を計画・実行し、発達心理学における新たな知見を提出する。				
アクティブラーニングの実施内容		問題解決型学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	発達心理学に関して、学生自らが導出したリサーチクエッションの問題解決に向け、心理学的手法を適用できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2	研究を遂行するうえで、情報を収集・整理・分析し、発達心理学における新たな知見を提出する。また、論文執筆を通して、自ら得た知見とその意義を論理的に表現できる能力を身につける。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	毎授業の発表内容やレポート、研究成果論文をもとに総合的に判断して評価する。 研究成果論文 7 0 %			1／2
2	発表内容・レポート 3 0 %			1／2
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
1. 研究・フィールドワークの実施報告ならびに先行研究の整理				
事前学修	授業の内容を整理するとともに、疑問や不明な点を明らかにし、批判的に考えたことを言語化し、まとめる。（事前・事後各1時間、総計30時間）			
事後学修				
2. 研究・フィールドワークの実施報告ならびに論文構成の提出				
事前学修				
事後学修				
3. 研究・フィールドワークの実施報告ならびに分析方法の精査				
事前学修				
事後学修				
4. 研究・フィールドワークの実施報告ならびに問題点の修正				
事前学修				
事後学修				
5. 研究成果の中間報告				
事前学修				
事後学修				

6. 研究・フィールドワークの実施報告ならびに分析		
事前学修		
事後学修		
7. 研究・フィールドワークの実施報告ならびに考察		
事前学修		
事後学修		
8. 論文目的部分提出ならびに議論		
事前学修		
事後学修		
9. 論文方法部分提出ならびに議論		
事前学修		
事後学修		
10. 論文結果部分提出ならびに議論		
事前学修		
事後学修		
11. 論文考察部分提出ならびに議論		
事前学修		
事後学修		
12. 論文要旨作成ならびに校閲		
事前学修		
事後学修		
13. 完成論文の校閲		
事前学修		
事後学修		
14. 口頭発表準備		
事前学修		
事後学修		
15. 口頭発表ならびに省察		
事前学修		
事後学修		

教育実践特論ⅠA			単位数	2単位
授業コード	M4210	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	小田 久美子			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
本授業では、子どもの描画発達に関する文献を精読する。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	到達目標 1. 子どもの発達と描画活動の関係について学ぶ。			知識・技能／主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	課題提出 30%			1
2	口頭発表 30%			1
3	試験 40%			1
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：はじめに				
事前学修	授業開始後の、計画にしたがった円滑な進行を可能にするために、十分な準備をして臨むことが求められる。準備の内容は、各授業ごとに通知する。			2
事後学修	シラバスを読んで内容や準備物を確認する。今後の学習内容を把握し、必要なものの準備を始める			2
第 2 回：『子どもの描画心理学』第 1 章 描画研究史の分類				
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする			2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う			2
第 3 回：『子どもの描画心理学』第 2 章 描画の特徴と発達段階				
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする			2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う			2
第 4 回：『子どもの描画心理学』第 3 章 定義				
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする			2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う			2
第 5 回：『子どもの描画心理学』第 4 章 アプローチの方法				
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする			2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う			2

第 6 回：『子どもの描画心理学』第 5 章 構成要素		
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 7 回：『子どもの描画心理学』第 6 章 読み取る情報		
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 8 回：『子どもの描画心理学』第 7 章 感情の伝達と芸術療法		
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 9 回：『子どもの描画心理学』第 8 章 描画発達と才能		
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 10 回：『子どもの描画心理学』第 9 章 芸術的特性		
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 11 回：『子どもの描画心理学』第 10 章 議論と研究課題		
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 12 回：美術教育の目的		
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 13 回：日本の美術教育理論		
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 14 回：世界の美術教育理論		
事前学修	これまでの講義の内容をふまえ、発表に向けて準備をする	2
事後学修	文献の内容とこれまでに配布した資料を通読して整理する	2
第 15 回：まとめ 定期試験		
事前学修	これまでの講義内容を総復習する	2
事後学修	講義で学んだことから研究課題を整理する	2

教育実践特論ⅠB			単位数	2単位
授業コード	M4220	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	小田 久美子			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
本授業では、子どもの描画発達に関する様々な文献を精読する。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	到達目標 1. 子どもの発達と描画活動の関係についてさらに学ぶ。			思考・判断・表現力／主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	課題提出 30%			1
2	口頭発表30%			1
3	試験40%			1
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：はじめに				
事前学修	授業開始後の、計画にしたがった円滑な進行を可能にするために、十分な準備をして臨むことが求められる。準備の内容は、各授業ごとに通知する。			2
事後学修	シラバスを読んで内容や準備物を確認する。今後の学習内容を把握し、必要なものの準備を始める			2
第 2 回：描画研究史の分類について				
事前学修	テーマに即した発表の準備をする			2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う			2
第 3 回：描画の特徴と発達段階について				
事前学修	テーマに即した発表の準備をする			2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う			2
第 4 回：定義について				
事前学修	テーマに即した発表の準備をする			2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う			2
第 5 回：アプローチの方法について				
事前学修	テーマに即した発表の準備をする			2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う			2

第 6 回：構成要素について		
事前学修	テーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 7 回：読み取る情報について		
事前学修	テーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 8 回：感情の伝達と芸術療法について		
事前学修	テーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 9 回：描画発達と才能について		
事前学修	テーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 10 回：芸術的特性について		
事前学修	テーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 11 回：議論と研究課題について		
事前学修	テーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 12 回：先行研究の総括について		
事前学修	テーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 13 回：課題の発掘 前編		
事前学修	テーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	毎時間のテーマに即した事後課題を行う	2
第 14 回：課題の発掘 後編		
事前学修	これまでの講義の内容をふまえ、発表に向けて準備をする	2
事後学修	講義の内容とこれまでに配布した資料を通読して整理する	2
第 15 回：まとめ 定期試験		
事前学修	これまでの講義内容を総復習する	2
事後学修	講義で学んだことから研究課題を整理する	2

教育実践特論ⅠⅠA			単位数	2単位
授業コード	M4260	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	片山 裕之			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
全国学力・学習状況調査、OECD 加盟国による生徒の学習状況調査（PISA）などの結果をもとに、我が国の子どもの抱えている学力を多面的に分析する。そのうえで、図画工作（表現力、鑑賞力）に関して、より高度な総合的な指導技術を身に付けるため、カリキュラム開発、教材開発等について、理論的な背景を検討する。				
アクティブラーニングの実施内容		体験学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	教科指導に関する理論的研究、調査的研究、開発的研究、実践的研究のあり方を理解して説明できる。		知識・技能／思考・判断・表現力	
2	専修免許取得に必要な専門的知識・技術と指導力を身につけて実践できる。		思考・判断・表現力／主体性	
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	・レポート作成、作品制作等 70%		1	
2	制作活動の様子 … 30%		2	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目		実務あり		
実務経験の授業への活用方法				
中学校教諭の経験を通して、学校現場（学級経営、教科指導、生徒指導等）で起こる様々な事象について解説する。 新制作協会会員、日本美術家連盟会員、岡山県展審査会員の経験から、図画工作指導の在り方について、実際の活動を通して指導する。				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：PISA 調査、全国学力・学習状況調査から見る今日の課題についてⅠ				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 2 回：PISA 調査、全国学力・学習状況調査から見る今日の課題についてⅡ				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 3 回：図画工作科教育の現状と今日の課題①				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 4 回 図画工作科教育の現状と今日の課題②				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 5 回 図画工作科「造形遊びをする活動・低学年」 領域の指導と造形力の育成				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2

第 6 回 図画工作科「造形遊びをする活動・中学年」領域の指導と造形力の育成		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 7 回 図画工作科「造形遊びをする活動・高学年」領域の指導と造形力の育成		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 8 回 図画工作科「絵や立体、工作で表す・低学年」領域の指導と造形力の育成		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 9 回 図画工作科「絵や立体、工作で表す・中学年」領域の指導と造形力の育成		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 10 回 図画工作科「絵や立体、工作で表す・高学年」領域の指導と造形力の育成		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 11 回図画工作科「鑑賞・身近な作品」領域の指導と鑑賞力の育成		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 12 回 図画工作科「鑑賞・我が国や諸外国の親しみのある作品」領域の指導と鑑賞力の育成		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 13 回造形力の育成に向けた教材開発のあり方		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 14 回鑑賞力育成にむけた教材開発のあり方		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 15 回 造形力と鑑賞力の育成と評価のあり方		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2

教育実践特論ⅠⅡB			単位数	2単位
授業コード	M4290	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	片山 裕之			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
図画工作科・生活科・総合的な学習で培うべき学力を明らかにし、表現力、言語力、学習構想力、創造力、造形力、鑑賞力、課題解決力などの育成を目指した小学校低学年から高学年にかけての教育カリキュラムを構想する。				
アクティブラーニングの実施内容		模擬授業・模擬保育		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	表現力、学習構想力、創造力、造形力、鑑賞力、課題解決力などを育成するためのカリキュラム試案を作成することができる。		知識・技能／思考・判断・表現力	
2	教育実践に必要となる高度な専門的資質と能力を身につけて、模擬授業等で実践することができる。		思考・判断・表現力／主体性	
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	・レポート作成と作品70%		1	
2	制作等の様子 30%		2	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目		実務経験あり		
実務経験の授業への活用方法				
中学校教諭の体験経験を活かして、学校現場（学級経営、教科指導、生徒指導等）で起こる様々な事象について解説する。 ・新制作協会会員、日本美術家連盟会員、岡山県展審査会員の経験から図画工作科指導にあたる。様々な図画工作（表現、鑑賞等）の活動を通して、どのように観察力、想像力、描写力、鑑賞力、表現力を培うかを伝える。 ・中学校での授業構想、授業実践等の体験を活かして、学校現場で求められる授業立案と実践について解説し、専門的資質を身に付けることができるようにする。				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回 体験的な学習と問題解決的な学習についてⅠ				
事前学修	配布資料をもとに事前考察		2	
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察		2	
第 2 回 体験的な学習と問題解決的な学習についてⅡ				
事前学修	配布資料をもとに事前考察		2	
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察		2	
第 3 回 社会教育の中で培う図画工作科の学力について				
事前学修	配布資料をもとに事前考察		2	
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察		2	
第 4 回 生活科、総合的な学習の中で培う創造力について				
事前学修	配布資料をもとに事前考察		2	
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察		2	
第 5 回 創造力育成カリキュラム作成（作品制作を含める）・低学年				
事前学修	配布資料をもとに事前考察		2	
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察		2	

第 6 回 創造力育成カリキュラム作成（作品制作を含める）・中学年		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 7 回 創造力育成カリキュラム作成（作品制作を含める）・高学年（片山）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 8 回 造形力育成カリキュラム作成（作品制作を含める）・低学年		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 9 回 造形力の育成カリキュラム（作品制作を含める）・中学年		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 10 回 造形力の育成カリキュラム（作品制作を含める）・高学年		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 11 回 鑑賞力の育成カリキュラム（美術館見学を含める）・低学年		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 12 回 鑑賞力の育成カリキュラム（美術館見学を含める）・中学年		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 13 回 鑑賞力の育成カリキュラム（美術館見学を含める）・高学年		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 14 回 学級経営力育成カリキュラムの作成・就学前～低学年		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 15 回 学級経営力育成カリキュラム作成・中学年～高学年		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2

試験等
レポート・作品提出
試験のフィードバックの方法
最終レポート・作品提出後に、その内容についてコメントする。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
なし
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必要な資料は、授業の中で配布する。
オフィスアワー
授業の中で知らせる。
連絡先
katayama@post.ndsu.ac.jp
留意事項

教育実践特論ⅠⅠⅠA			単位数	2単位
授業コード	M4320	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	青山 新吾			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
我が国のインクルーシブ教育の考え方や現状について、特別支援教育、人権視点、社会モデル等の斬り口から包括的に取り扱う。また、障害のある子どもだけに限定しない子どもの生きづらさを踏まえた上で、インクルーシブ教育の実践についての調査と発表を重ね、ディスカッションを展開する。				
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	インクルーシブな保育や教育を進めるために必要な障害観や人権視点について考察を進めて、自身のことばで表現することができる。		知識・技能／思考・判断・表現力	
2	子どもの多様な生きづらさについて理解し発表できる。		知識・技能／主体性	
3	インクルーシブ教育について、その現状や意味について理解し発表できる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	・授業内の発表 50%		1／2／3	
2	・最終レポート（口頭試問含む） 50%		1／2／3	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目		実務あり		
実務経験の授業への活用方法				
学校教員や教育行政職としての経験を活かし、学校教育現場での具体的なエピソードや実践的知見を扱いながら授業を展開する。				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
1 インクルーシブと私				
事前学修	インクルーシブに関連する自身の体験や考えを振り返りまとめる。			2 時間
事後学修	インクルーシブに関連する文献やサイトにアクセスし、基礎的事項の理解を深める。			2 時間
2 インクルージョンの歩み				
事前学修	教科書のインクルージョンの歩みに関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。			2 時間
事後学修	インクルージョンの歩みについて関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容についてまとめる。			2 時間
3 インクルーシブな社会と教育の原理				
事前学修	教科書のインクルーシブな社会と教育の原理に関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。			2 時間
事後学修	インクルーシブな社会と教育の原理について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容についてまとめる。			2 時間
4 マジョリティという観点からインクルージョンを考える				
事前学修	教科書のマイノリティという観点からのインクルージョンに関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。			2 時間
事後学修	マイノリティという観点からのインクルージョンについて関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。			2 時間
5 障害児と教育				
事前学修	教科書の障害児と教育に関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。			2 時間
事後学修	障害児と教育について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。			2 時間

6 家族と教育		
事前学修	教科書の家族と教育に関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。	2時間
事後学修	家族と教育について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2時間
7 性的マイノリティと教育		
事前学修	教科書の性的マイノリティと教育に関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。	2時間
事後学修	性的マイノリティと教育について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2時間
8 諸外国におけるインクルーシブ教育（１）－アメリカー		
事前学修	教科書のアメリカのインクルーシブ養育に関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。	2時間
事後学修	アメリカのインクルーシブ教育について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2時間
9 諸外国におけるインクルーシブ教育－イタリアー		
事前学修	教科書のイタリアのインクルーシブ教育に関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。	2時間
事後学修	イタリアのインクルーシブ教育について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2時間
10 諸外国におけるインクルーシブ教育－スコットランドー		
事前学修	教科書のスコットランドのインクルーシブ教育に関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。	2時間
事後学修	スコットランドのインクルーシブ教育について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2時間
11 インクルーシブな授業づくり		
事前学修	教科書のインクルーシブな授業づくりに関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。	2時間
事後学修	インクルーシブな授業づくりについて関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2時間
12 インクルーシブな学校づくり		
事前学修	教科書のインクルーシブな学校づくりに関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。	2時間
事後学修	インクルーシブな学校づくりについて関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2時間
13 インクルーシブなコミュニティと社会		
事前学修	教科書のインクルーシブなコミュニティと社会に関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。	2時間
事後学修	インクルーシブなコミュニティと社会について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2時間
14 我が国におけるインクルーシブ教育の現状と課題		
事前学修	教科書の我が国のインクルーシブ教育の現状と課題に関連するページを熟読するとともに、発表者は関連文献、関連サイトにアクセスして内容を補充し、30分程度の発表が行えるよう準備する。	2時間
事後学修	我が国のインクルーシブ教育の現状について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2時間
15 まとめ		
事前学修	これまでの学びに関連する文献、資料、関連サイトにアクセスし、自身のことばで学びを整理して記述する。	2時間
事後学修	これまでの学習内容を振り返り、最終レポートの作成に向けての論点整理や学びの内容整理を行う。	2時間

試験等
16 最終レポートの提出及び最終口頭試問の実施
試験のフィードバックの方法
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
インクルーシブな教育と社会／原田 琢也／ミネルヴァ書房／2800／9784623096558／冊子版
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
＜必携書＞ 『インクルーシブな教育と社会』原田琢也, ミネルヴァ書房, 2024年, ISBN-9784623096558 『エピソード語りで見えてくるインクルーシブ教育の視点』青山新吾, 学事出版 ＜参考書＞ 『差別のない社会をつくるインクルーシブ教育』野口晃菜・喜多一馬, 学事出版 『差別はたいてい悪意のない人がする』キム・ジヘ、大月書店 『障害理解のリフレクション 行為と言葉が描く＜他者＞と共にある世界』佐藤貴宣・栗田季佳、ちとせプレス 『「発達」を問う 今昔の対話 制度化の罫を超えるために』浜田寿美男、ミネルヴァ書房 『インクルーシブ教育を通常学級で実践するってどういうこと』青山新吾・岩瀬直樹, 学事出版 その他, 講義中に適宜紹介する。
オフィスアワー
講義内で指示する。メール等にて適宜アポイントメントを取って相談に応じる。またメールとでの質問、相談は適宜受け付ける。
連絡先
saoyama@m.ndsu.ac.jp
留意事項

教育実践特論ⅠⅠⅠB			単位数	2単位
授業コード	M4330	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	青山 新吾			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
先ず、オランダのインクルーシブ教育の考え方やその状況について概観する。その後、多重知能理論の考え方を踏まえるなど、学習者視点からの授業の在り方や多様な実態の子どもの学びに焦点化しながら調査、発表を重ねることで、インクルーシブな学校の在り方について検討する。また更に、地域と学校教育の関連という学校外との関係性の視点からインクルーシブ教育について概観し、今後の我が国のインクルーシブ教育の向かうべき方向と考え方について深めていきたい。				
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	諸外国のインクルーシブ教育の考え方と在り方について理解し発表できる。		知識・技能／主体性	
2	学習者視点からの授業の在り方や、多様な実態の子どもの学びを理解し発表できる。		知識・技能／主体性	
3	地域と学校教育の関連からインクルーシブ教育について概観し、その関係性を自分のことばで表現できる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	諸外国の考え方や状況、多様な実態の子どもの学び、地域との関連性を包括的に捉え、我が国のインクルーシブ教育の向かうべき方向と考え方について自分自身のことばで表現できる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	・講義内で複数回の発表を求める 50%		1／2／3	
2	・最終レポート（口頭試問含む） 50%		1／2／3／4	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目		実務あり		
実務経験の授業への活用方法				
学校教員や教育行政職としての経験を活かし、学校教育現場での具体的なエピソードや実践的知見を扱いながら授業を展開する。				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
1 多様な子どもたちの存在を前提とした教育				
事前学修	これまでの学びや体験を振り返り、多様な子どもたちの実態について整理する。			2 時間
事後学修	多様な子どもたちの実態について関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。			2 時間
2 世界の教育 オランダ				
事前学修	オランダの教育について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。			2 時間
事後学修	オランダの教育について関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。			2 時間
3 世界のインクルーシブ教育状況 オランダ				
事前学修	オランダのインクルーシブ教育の状況について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。			2 時間
事後学修	オランダのインクルーシブ教育について関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。			2 時間
4 学びやすい学び方～マルチプルインテリジェンスを例に～				
事前学修	マルチプル・インテリジェンスについて関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。			2 時間
事後学修	マルチプル・インテリジェンスについて関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。			2 時間
5 イエナプラン校の実践調査				
事前学修	我が国のイエナプラン校の教育実践について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。			2 時間
事後学修	我が国のイエナプラン校の教育について関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。			2 時間

6 イエナプラン校の実践発表		
事前学修	我が国のイエナプラン校の実践をインクルーシブ教育として捉えられるかについて関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2 時間
事後学修	我が国のイエナプラン校の教育実践はインクルーシブ教育と捉えられるかについて、関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。	2 時間
7 軽井沢風越学園の実践調査		
事前学修	軽井沢風越学園の実践について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2 時間
事後学修	軽井沢風越学園の実践について関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。	2 時間
8 軽井沢風越学園の教育とインクルーシブ		
事前学修	軽井沢風越学園の実践をインクルーシブ教育として捉えられるかについて関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2 時間
事後学修	軽井沢風越学園の実践をインクルーシブ教育として捉えられるかについて関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。	2 時間
9 探究学習とインクルーシブ教育		
事前学修	探究学習とインクルーシブ教育の関連について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2 時間
事後学修	探究学習とインクルーシブ教育の関連について関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。	2 時間
10 インクルーシブな学校とはー赤磐市の取組を考えるー		
事前学修	赤磐市におけるインクルーシブな学校づくりについて関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2 時間
事後学修	赤磐市におけるインクルーシブな学校づくりについて関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。	2 時間
11 ソーシャルインクルージョンーあかりの家の取組を考えるー		
事前学修	自閉症者施設あかりの家の取組を元にソーシャルインクルージョンについて関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2 時間
事後学修	自閉症者施設あかりの家の取組を元にソーシャルインクルージョンについて関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。	2 時間
12 地域とインクルーシブ教育 ふれ・ジョブ		
事前学修	社団法人ふれ・ジョブの取組について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2 時間
事後学修	社団法人ふれ・ジョブについて関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。	2 時間
13 地域とインクルーシブ教育 こたえのない学校ーFOX LABー		
事前学修	社団法人こたえのない学校のFOX LABの取組について関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2 時間
事後学修	社団法人こたえのない学校のFOX LABの取組について関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。	2 時間
14 地域とインクルーシブ教育ーDE&Iを考えるー		
事前学修	DE&Iについて関連文献や関連サイトにアクセスするとともに、自身のことばで授業やディスカッションの内容をまとめる。	2 時間
事後学修	DE&Iについて関連文献やサイトにアクセスして考えを補強し、自身のことばで小レポートを作成する。	2 時間
15 総括討論		
事前学修	これまでの学びを振り返り、インクルーシブ教育を考える際の論点整理を行い、整理する。	2 時間
事後学修	これまでの論点整理と総括ディスカッションを踏まえ、まとめのレポート作成に向けてプロット作成を行う。	

試験等
16 最終レポートの提出及び最終口頭試問の実施
試験のフィードバックの方法
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
＜参考書＞ 『アメリカの教室に入ってみた』 赤木和重, ひとなる書房 『インクルーシブな学校をつくるー北欧の研究と実践に学びながら』 石田祥子・是永かな子・眞城知己、ミネルヴァ書房 『イエナプラン 共に生きることを学ぶ学校』 フレーク・フェルトハウス、ヒューバート・ウインタース, ほんの木 『学習する学校 子ども・教員・親・地域で未来の学びを創造する』 ビーター・M・センゲ、英治出版 『プロジェクトの学びでわたしをつくる』 軽井沢風越ラーニングセンター 『協働する探究のデザイン：社会をよくする学びをつくる』 藤原さと、平凡社 『現場発！ ソーシャルインクルージョンとインクルーシブ教育』 高原 浩、学事出版 その他、講義中に適宜紹介する。
オフィスアワー
講義中に指示する。電子メール等での相談、質問は適宜受け付ける。
連絡先
saoyama@m.ndsu.ac.jp
留意事項

発達支援論演習ⅠA			単位数	2単位
授業コード	M4340	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	小田 久美子			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
本授業では、幼児の描画発達とその周辺領域にあるカレントな問題を発掘し、美術的・教育的視点により解明していく。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	到達目標 1. 広い視野に立って問題の所在を明らかにし研究課題を設定することができる。			知識・技能
2	到達目標 2. 研究計画を立案し、それにしたがって分析・考察を進めることができる。			主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	研究課題に対する情熱（到達目標 1）50%、研究に対する姿勢（到達目標 1・2）50%の総合評価とする。			1/2
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：論文の構成				
事前学修	授業開始後の、計画にしたがった円滑な進行を可能にするために、十分な準備をして臨むことが求められる。準備の内容は、各授業ごとに通知する。			2
事後学修	シラバスを読んで内容や準備物を確認する。今後の学習内容を把握し、必要なものの準備を始める			2
第 2 回：文献・資料の調査方法				
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める			2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける			2
第 3 回：参考文献・資料の引用				
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める			2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける			2
第 4 回：論理の構築と日本語表現				
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める			2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける			2
第 5 回：主題の選定				
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める			2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける			2

第 6 回：美術教育に関する先行研究（国内）		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 7 回：美術教育に関する先行研究（海外）		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 8 回：先行研究の概観		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 9 回：研究計画の作成①（背景と目的）		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 10 回：研究計画の作成②（方法と内容構成）		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 11 回：文献の整理①美術教育関連図書		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 12 回：文献の整理②描画心理学関連図書		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 13 回：文献の分析①幼年造形教育		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 14 回：文献の分析②図画工作科教育		
事前学修	文献を読みテーマに即した発表の準備をする	2
事後学修	これまでの講義の内容をふまえ、発表に向けて準備をする	2
第 15 回：文献の考察 定期試験		
事前学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
事後学修	文献の内容とこれまでに配布した資料を通読して整理する	2

発達支援論演習ⅠB			単位数	2単位
授業コード	M4345	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	小田 久美子			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
本授業では、幼児の描画発達とその周辺領域にあるカレントな問題を発掘し、美術的・教育的視点により解明していく。				
アクティブラーニングの実施内容		調査学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	到達目標 1. 立案している研究計画にしたがって分析・考察を進めることができる。		思考・判断・表現力／主体性	
2	到達目標 2. 成果をまとめ、論文を執筆する研究能力を身につける。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	研究課題に対する情熱（到達目標 1）50%、研究に対する姿勢（到達目標 2）50%の総合評価とする。		1／2	
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：文献の考察				
事前学修	授業開始後の、計画にしたがった円滑な進行を可能にするために、十分な準備をして臨むことが求められる。準備の内容は、各授業ごとに通知する。			2
事後学修	シラバスを読んで内容や準備物を確認する。今後の学習内容を把握し、必要なものの準備を始める			2
第 2 回：資料の整理				
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める			2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける			2
第 3 回：資料の分析と考察				
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める			2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける			2
第 4 回：文献および資料の分析と考察				
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める			2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける			2
第 5 回：執筆①問題の所在				
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める			2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける			2

第 6 回：執筆②先行研究		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 7 回：執筆③内容構成		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 8 回：執筆④分析方法		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 9 回：執筆⑤分析と考察		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 10 回：執筆⑥検証と説明		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 11 回：執筆⑦総括的考察		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 12 回：執筆⑧全体の校閲		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 13 回：註・参考資料・文献の確認		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 14 回：アブストラクト作成		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2
第 15 回：総括と講評 定期試験		
事前学修	毎時間のテーマに即した事前課題を進める	2
事後学修	講義の内容をまとめ課題を見つける	2

発達支援論演習II A			単位数	2単位
授業コード	M4350	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第 1 期
担当者氏名	片山 裕之			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
本授業では、人間の描画行動について、様々な描画体験及び発達、美術、感性教育などの様々な視点から研究をおこなう。				
アクティブラーニングの実施内容		体験学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	立案している研究計画にしたがって体験、分析、考察を進めることができる。			知識・技能／思考・判断・表現力
2	体験成果をまとめ、論文を執筆する研究能力を身につける			知識・技能／思考・判断・表現力
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	制作に取り組む姿勢 20点			1／2
2	制作作品・レポート・論文 80点			1／2
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目		実務あり		
実務経験の授業への活用方法				
新制作協会会員、日本美術家連盟会員、岡山県展審査会員の経験から、絵画指導にあたる。				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：研究テーマおよび研究計画の構想				
事前学修	授業計画にしたがった円滑な制作、研究進行を可能にするために、十分な準備をして臨むことが求められる。準備学習の内容は、授業時に通知する			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 2 回：文献の考察				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 3 回：資料の分析と考察				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 4 回：風景画制作①（構想段階における主観的体験）				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 5 回：風景画制作②（素描段階における主観的体験）				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2

第 6 回：風景画制作③（素描段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 7 回：制作体験のリフレクション		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 8 回：風景画制作④（彩色段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 9 回：風景画制作⑤（彩色段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 10 回：風景画制作⑥（彩色段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 11 回：制作体験のレフレクション		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 12 回：風景画制作⑦（彩色段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 13 回：風景画制作⑧（彩色段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 14 回：分析と考察		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 15 回：総括と講評		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2

発達支援論演習IIB			単位数	2単位
授業コード	M4355	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	片山 裕之			
時間割備考				
授業形態（主）	2 演習			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
本授業では、人間の描画行動について、様々な描画体験及び発達、美術、感性教育などの様々な視点から研究をおこなう。				
アクティブラーニングの実施内容		体験学習		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	立案している研究課題にしたがって体験、分析、考察を進めることができる			知識・技能／思考・判断・表現力
2	体験成果をまとめ、論文を執筆する研究能力を身につける			知識・技能
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	制作に取り組む姿勢 20点			1
2	作品・レポート・論文 80点			1／2
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目		実務あり		
実務経験の授業への活用方法				
新制作協会会員、日本美術家連盟会員、岡山県展審査会員の経験から、絵画指導にあたる。				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：研究テーマおよび研究計画の構想				
事前学修	授業計画にしたがった円滑な制作、研究進行を可能にするために、十分な準備をして臨むことが求められる。準備学習の内容は、授業時に通知する			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 2 回：文献の考察				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 3 回：資料の分析と考察				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 4 回：人物画制作①（構想段階における主観的体験）				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2
第 5 回：人物画制作②（素描段階における主観的体験）				
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2

第 6 回：人物画制作③（素描段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 7 回：制作体験のレフレクション		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 8 回：人物画制作④（彩色段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 9 回：人物画制作⑤（彩色段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 10 回：人物画制作⑥（彩色段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 11 回：制作体験のリフレクション		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 12 回：人物画制作⑦（彩色段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 13 回：人物画制作⑧（彩色段階における主観的体験）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 14 回：分析と考察		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 15 回：総括と講評		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2

音楽特論			単位数	2単位
授業コード	M4380	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	池田 尚子			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
児童の豊かな感性を育み、多様な音楽表現を引き出すためには、教員自らの感性と、音楽表現力が豊かであることが大切である。本授業では、そのために最低限必要な発声の基礎を知り、多様な舞台芸術作品に触れることにより、教育現場において役立つ歌唱技術や表現方法を習得する。幅広い音楽に触れ表現することにより、表情豊かに表現する力も養う。				
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ワーク		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	歌うための呼吸法と発声法を理解し身につける。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
2	楽譜から音楽を読み取り、曲にふさわしい表現ができるようになる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	日本語の発音を明確に歌唱できるようになる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4	授業をきっかけに自ら音楽鑑賞をし、コンサートやオペラ、ミュージカルに足を運ぶようになる。		思考・判断・表現力／主体性	
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業中の意欲・態度 50%		1／2／3／4	
2	実技・レポート課題 50%		1／2／3／4／5	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
1. オリエンテーション 児童期における子どもの音楽的発達を知ろう				
事前学修	自身の児童期における音楽とのかかわりについてまとめる			2時間程度
事後学修	各学年に応じた目標の位置づけ、構造、実態をまとめておく			2時間程度
2. 表現（歌唱・器楽）について				
事前学修	歌唱活動・器楽活動について調べて整理する			2時間程度
事後学修	歌唱活動・器楽活動について、自身の経験を基に指導内容を考える			2時間程度
3. 歌唱の意義と留意点				
事前学修	教師に何が求められているかを考察する（歌唱について）			2時間程度
事後学修	歌唱指導のポイントをまとめ、自身も共通教材の弾き歌いに取り組む			2時間程度
4. 発声と指導方法について 声の仕組みと発声について知る				
事前学修	自身が学んできた発声指導についてまとめる 呼吸器官の仕組みを調べる			2時間程度
事後学修	年齢に応じた歌唱指導についてまとめる 自身が「自然な呼吸」で歌唱できるよう日々課題に取り組む			2時間程度
5. 歌唱の教材研究（低学年）				
事前学修	共通教材より、指導案を作成する 課題曲について、朗読を行い、音を取り、歌えるように練習に取り組む			2時間程度
事後学修	指導案の修正を行う 課題曲については、ふさわしい表現ができるよう毎日練習を行う			2時間程度

6. 歌唱の教材研究（高学年）		
事前学修	共通教材より、指導案を作成する 課題曲について、作詩者、作曲者について調べ、楽譜をよく見て練習に取り組む どのように表現したいか、自分の思いや意図を明確にしておく	2時間程度
事後学修	指導案を修正する 曲にふさわしい表現を検討し、表現できるよう練習に取り組む	2時間程度
7. 器楽の意義と留意点		
事前学修	教師に何が求められているかを考える（器楽について）	2時間程度
事後学修	器楽指導の留意点をまとめる	2時間程度
8. 各楽器の奏法と指導法		
事前学修	小学校で扱う楽器について調べまとめ、指導案を作成する 課題曲について、作詩者、作曲者について調べ、楽譜をよく見て練習に取り組む	2時間程度
事後学修	指導案を修正する 楽器のバランスを考え演奏できるよう、繰り返し練習する	2時間程度
9. 鑑賞① オペラ・ミュージカルについて		
事前学修	自身が鑑賞したことのあるオペラやミュージカルについてまとめる	2時間程度
事後学修	オペラとミュージカル、歌舞伎の歴史について調べまとめる	2時間程度
10. 鑑賞② オペラ・ミュージカル鑑賞		
事前学修	舞台を観に行く（この授業までに機会を見つけ劇場に足を運んでおく）	2時間程度
事後学修	自身が鑑賞した作品について鑑賞ノートにまとめる	2時間程度
11. 鑑賞③ さまざまな楽器オーケストラ作品について		
事前学修	オーケストラで使用される楽器について調べ、オーケストラ作品を鑑賞し、鑑賞ノートにまとめる	2時間程度
事後学修	異なる作曲家のオーケストラ作品を鑑賞し、自身が鑑賞した作品について鑑賞ノートにまとめる	2時間程度
12. 鑑賞④ オーケストラ作品・器楽作品を鑑賞		
事前学修	同じ作品で異なる演奏者の演奏を鑑賞し、鑑賞ノートにまとめる	2時間程度
事後学修	その他の編成や国の異なる作品を聴き、自身が鑑賞した作品について鑑賞ノートにまとめる	2時間程度
13. 教材の選択① 鑑賞教材		
事前学修	鑑賞教材の選択の観点についてまとめ、教材研究を行う	3時間程度
事後学修	「鑑賞」の意義と留意点についてまとめる	1時間程度
14. 教材の選択② 合唱教材		
事前学修	合唱曲を選曲するに当たってのポイントをまとめ、教材研究を行う	3時間程度
事後学修	合唱指導をする際のポイントをまとめる	1時間程度
15. 音楽科教員に求められるもの		
事前学修	今日的な課題について考察する	2時間程度
事後学修	課題について、自身の経験より考えをまとめレポートを提出する	2時間程度

試験等
定期試験
試験のフィードバックの方法
試験終了後にフィードバックを行う。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
使用しない。
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
適宜配布する
オフィスアワー
授業中に指示する。
連絡先
hisako.i@m.ndsu.ac.jp
留意事項
日頃から優れた音楽に注意深く耳を傾けるように心がけてほしい。

美術特論				単位数	2単位
授業コード	M4400	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	片山 裕之				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）	2 演習				
担当形態	単独				
研究分野（大学院）	発達支援論				
本授業の概要					
美術概論、絵画表現、鑑賞の三分野を必要に応じて演習を交えながら授業を進める。					
アクティブラーニングの実施内容		体験学習			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	美術全般に関する知識、関心を深めることができる。			知識・技能／思考・判断・表現力	
2	実技を通して描くことの楽しさを味わうとともに、技術の向上をはかることができる。			知識・技能	
3	鑑賞に関する知識、興味を深めることができる			知識・技能／思考・判断・表現力	
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	作品・レポート・発表 …70点			1／2／3	
2	授業態度 …30点			1／2／3	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
新制作協会会員、日本美術家連盟会員、岡山県展審査会員の経験から、美術全体の指導にあたる。表現活動、鑑賞活動を通して、観察力、想像力、描写力、鑑賞力を身につけるとともに、美的感性も養う。					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
第1回 美術概論Ⅰ （造形表現の意義）					
事前学修	授業計画にしたがった円滑な講義・演習進行を可能にするために、十分な準備をして臨むことが求められる。準備学習の内容は、授業時に通知する。			2	
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2	
第2回 美術概論Ⅱ （鑑賞の意義）					
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2	
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察			2	
第3回 絵画表現Ⅰ （人物画の制作）					
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2	
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察・制作			2	
第4回 絵画表現Ⅱ （人物画の制作）					
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2	
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察・制作			2	
第5回 絵画表現Ⅲ （人物画の制作）					
事前学修	配布資料をもとに事前考察			2	
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察・制作			2	

第 6 回 絵画表現Ⅳ （人物画の制作）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察・制作	2
第 7 回 絵画表現Ⅴ （人物画の制作）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察・制作	2
第 8 回 鑑賞Ⅰ （西洋美術史・古代から現代）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 9 回 鑑賞Ⅱ （西洋美術史・古代から現代）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 10 回 鑑賞Ⅲ （西洋美術史・古代から現代）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 11 回 鑑賞Ⅳ （日本美術史・飛鳥時代から江戸時代）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 12 回 鑑賞Ⅴ （日本美術史・飛鳥時代から江戸時代）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 13 回 鑑賞Ⅵ （日本美術史・飛鳥時代から江戸時代）		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	講義内容の考察及び講義関連内容の考察	2
第 14 回 美術館見学Ⅰ		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	見学内容の考察及び見学関連内容の考察	2
第 15 回 美術館見学Ⅱ		
事前学修	配布資料をもとに事前考察	2
事後学修	見学内容の考察及び見学関連内容の考察	2

試験等
作品提出、レポート提出、総合批評会
試験のフィードバックの方法
作品、課題レポートはその都度、提出後評価説明をおこなう。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
西洋美術史　、高階秀爾、美術出版社
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
西洋美術史、高階秀爾、美術出版社
オフィスアワー
授業中に指示する
連絡先
katayama @post.ndsu.ac.jp
留意事項
授業態度、出席は大切に扱います。指定された美術全集・画集等は図書館、美術研究室のものを利用する。

特別支援教育特論			単位数	2単位
授業コード	M4410	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	東 俊一			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
特別支援教育の概要を理解したうえで、その対象、実践方法、役割と連携のありかたについて学ぶ。				
アクティブラーニングの実施内容				
調査学習				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	障害理解だけでなく、具体的な支援方法の理解・支援計画作成、および生涯にわたる支援について理解し、説明できる。			知識・技能／思考・判断・表現力／主体性
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業内での発表（50/100）			1
2	レポート（50/100）			1
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目			実務あり	
実務経験の授業への活用方法				
岡山県教育委員会からの委託を受け、「県巡回相談事業に係る専門家チーム員」として保育・学校教育現場からの相談に応じ、ケース会議での助言・指導・監督、及び計画作成という業務に携わっていた経験から、特別支援教育現場における支援の計画、実践に関する問題の構造を多角的に取り上げ、学校・保護者・地域が連携し、実行可能な支援方法について学生に投げかけることで、学生に支援の計画・実践のための実践的な力を促す。				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間	
第 1 回：特別支援教育の意義と理念				
事前学修	この授業では、1回目に資料を配布します。毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。			2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。			2時間
第 2 回：特別支援教育の制度概要と支援体制				
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。			2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。			2時間
第 3 回：障害概念と特別な教育ニーズ				
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。			2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。			2時間
第 4 回：知的障害の実態把握とアプローチ				
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。			2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。			2時間
第 5 回：学習障害の実態把握とアプローチ				
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。			2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。			2時間

第 6 回：A D H Dの実態把握とアプローチ		
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。	2時間
第 7 回：A S Dの実態把握とアプローチ		
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。	2時間
第 8 回：個別の指導計画の理解と作成		
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。	2時間
第 9 回：個別の教育支援計画の理解と作成		
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。	2時間
第 10 回：校内支援体制の重要性と構築		
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。	2時間
第 11 回：地域支援ネットワーク		
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。	2時間
第 12 回：就学前期における課題と個別支援		
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。	2時間
第 13 回：学齢期における課題と個別支援（生活支援、学習支援）		
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。	2時間
第 14 回：学齢期における課題と個別支援（行動支援、対人関係の支援）		
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。	2時間
第 15 回：就労に関する課題と個別支援		
事前学修	毎回の授業前に資料を閲覧し、全体の話の流れや疑問点などを把握した上で授業に臨むこと。	2時間
事後学修	授業後は、内容を再確認し、合わせて参考図書を参照して体系的に理解するようまとめること。	2時間

社会教育特論			単位数	2単位
授業コード	M4420	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	西井 麻美			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
今日の社会教育の在り方に関して、国際社会及び我が国の政策や実践の動向を踏まえた検討を行い、社会教育・生涯学習の領域での人材育成の観点を明らかにしていく。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	社会教育・生涯学習に関する実践と理論について把握することができる。			知識・技能／思考・判断・表現力
2	これからの社会に求められる人材育成の在り方について、自分なりの見解を見いだすことができる。			思考・判断・表現力／主体性
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	提出課題（レポート） 50%			1／2
2	授業への参加態度・発表 50%			1／2
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間	
第 1 回 オリエンテーション				
事前学修	各回の授業内容に関連する資料を事前に調べる。			約120分
事後学修	授業で触れた内容の理解を深めるため事後に関連する図書や資料を精読する。			約120分
第 2 回 今日の社会教育・生涯学習の課題				
事前学修	授業テーマに関連する資料を検索する。			約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオにまとめる。			約120分
第 3 回 社会教育の理論（1）学習論				
事前学修	授業のテーマに関する資料に当たる。			約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。			約120分
第 4 回 社会教育の理論（2）組織論				
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。			約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。			約120分
第 5 回 生涯学習の理論（1）ラングランによる生涯教育の提唱				
事前学修	授業のテーマに関する資料に当たる。			約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。			約120分

第 6 回 生涯学習の理論（２）ジェルビによる生涯教育論		
事前学修	授業テーマに関する資料を検索する。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
第 7 回 社会教育・生涯学習の基盤（１）法規		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
第 8 回 社会教育・生涯学習の基盤（２）社会教育・生涯学習関連施設と実践		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
第 9 回 ESD とは		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
第 10 回 国連 ESD・SDGs 政策		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
第 11 回 岡山における ESD・SDGs プロジェクト		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
第 12 回 地域の ESD・SDGs 活動		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
第 13 回 これから ESD・SDGs を展開していくために：グループ討議・発表		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
第 14 回 これからの社会に求められる人材育成：グループ討議・発表		
事前学修	授業テーマに関する資料に当たる。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分
第 15 回 まとめ		
事前学修	これまでの授業を振り返る。	約120分
事後学修	授業のまとめを行い、ポートフォリオを作成する。	約120分

生徒指導特論			単位数	2単位
授業コード	M4430	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第 1 期
担当者氏名	中内 みさ			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	発達支援論			
本授業の概要				
「生徒指導提要」（文部科学省，2022）を軸に生徒指導に関する論文のレビューを通して、生徒指導の基礎的理論・意義や課題、学校における体制づくり、子どもをめぐって地域社会・学校が抱える今日の問題解決のために生徒指導が果たす役割などを検討し、理解を深める。				
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	生徒指導の意義と課題を説明することができる。			
2	学校における生徒指導体制と関連諸機関との連携に関して説明することができる。			
3	子どもをめぐる地域社会や学校の問題を解説できる。			
4	子ども支援のために生徒指導が果たす役割を説明できる。			
5	生徒指導の計画を提案することができる。			
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	発表（30％）			1／2／3／4
2	討論への積極的な参加（30％）			1／2／3／4
3	レポート（40％）			1／2／3／4／5
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：オリエンテーション				
事前学修	生徒指導に関して大学で学んだことを整理しておく（2時間程度）。			
事後学修	生徒指導の理論と歴史に関してまとめる（2時間程度）。			
第 2 回：生徒指導の基本的な進め方				
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。			
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。			
第 3 回：生徒指導の基礎				
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。			
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。			
第 4 回：生徒指導と教育課程				
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。			
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。			
第 5 回：チーム学校による生徒指導体制				
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。			
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。			

第 6 回：学校における危機と危機管理		
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。	
第 7 回：いじめ		
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。	
第 8 回：暴力行為と少年非行		
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。	
第 9 回：児童虐待		
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。	
第 10 回：自殺		
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。	
第 11 回：中途退学と不登校		
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。	
第 12 回：インターネット・携帯電話にかかわる問題		
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。	
第 13 回：性に関する問題		
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。	
第 14 回：多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導		
事前学修	「生徒指導提要」の指定された箇所を読み、発表のために概要や疑問点を要約しておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見や意見、それに対する自分の考えなどをまとめておく（2時間程度）。	
第 15 回：まとめ		
事前学修	インクルーシブ教育における生徒指導の在り方に関して自分の意見をまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	これまでの討論を振り返り、生徒指導の課題に関してまとめる（2時間程度）。	

保育内容特論（人間関係）			単位数	2単位
授業コード	M4512	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第 1 期
担当者氏名	三宅 一恵			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	専門関連科目			
本授業の概要				
「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に示された領域「人間関係」のねらい及び内容等を読み解くとともに、幼児期における人間関係の発達を促す保育のあり方を検討する。また、幼児理解や指導計画作成など、保育技術の向上につながる学びを深める。				
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	・教育実習や実践の振り返りを行いながら、課題や成果を明らかにし、その改善点を考えることができる。			
2	・領域「人間関係」を中心とした保育内容の専門的な理解を深め、幼児理解とともに保育の構想や指導計画作成などの保育技術の向上に活かすことができる。			
3	・現代の保育現場の課題を踏まえて自分の問題意識を明瞭化し、課題研究のテーマ設定につなげることができる。			
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業での意欲・態度・姿勢 40点			1／2／3
2	課題レポート 60点			1／2／3
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：保育実践の振り返りの意義				
事前学修	実習やボランティア等の今までの保育実践を振り返り、成果と課題を整理しておくこと。			2時間
事後学修	講義を振り返り、保育実践を振り返り次に活かすことの意義について、自分の考えをまとめておくこと。			2時間
第 2 回：幼児理解の観点からの振り返りと課題の把握				
事前学修	今までの実践に対して、幼児理解の観点から振り返り、整理しておくこと。			2時間
事後学修	講義を振り返り、幼児理解の観点からの課題を整理するとともに、自分の考えをまとめておくこと。			2時間
第 3 回：保育内容の観点からの振り返りと課題の把握				
事前学修	『幼稚園教育要領』（平成29年改訂）を読み、理解を深めておくこと。			2時間
事後学修	講義を振り返り、保育内容の観点から課題を整理するとともに、自分の考えをまとめておくこと。			2時間
第 4 回：環境構成の観点からの実践の改善				
事前学修	様々な園の環境構成について調べ、整理しておくこと。			2時間
事後学修	講義を振り返り、園の環境構成について課題を整理するとともに、自分の考えにまとめておくこと。			2時間
第 5 回：領域「人間関係」の観点からの実践の改善				
事前学修	『幼稚園教育要領』等の領域「人間関係」の解説部分を読み解き、理解を深めておくこと。			2時間
事後学修	講義を振り返り、領域「人間関係」の視点から見た保育内容について、まとめておくこと。			2時間

第6回：学級経営の観点からの実践の改善		
事前学修	さまざまな園における学級経営の重要性について調べ、理解を深めておくこと	2時間
事後学修	講義を振り返り、学級経営の重要性について、自分の考えをまとめておくこと。	2時間
第7回：人間関係を育む教師の役割と環境構成		
事前学修	子どもの「人と関わる力」の発達について調べ、理解を深めておくこと。	2時間
事後学修	講義を振り返り、「人と関わる力」を育む教師の援助や環境構成について、自分の考えをまとめておくこと。	2時間
第8回：「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」からみた実践の改善		
事前学修	『幼稚園教育要領解説』の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を読み、理解を深めておくこと。	2時間
事後学修	講義を振り返り、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点から保育内容をまとめておくこと。	2時間
第9回：協同的な学びを育む観点からみた実践の改善		
事前学修	保育実践における「協同性」について調べ、理解を深めておくこと	2時間
事後学修	講義を振り返り、協同的な学びを育む観点からみた実践をまとめておくこと。	2時間
第10回：集団づくりの観点からみた実践の改善		
事前学修	個と集団の視点から保育実践を振り返り、整理しておくこと。	2時間
事後学修	講義を振り返り、集団づくりの観点からみた保育実践について、自分の考えをまとめておくこと。	2時間
第11回：小学校教育とのつながりの観点からの実践の改善		
事前学修	幼児教育と小学校教育のつながりについて調べ、概要を理解しておくこと。	2時間
事後学修	講義を振り返り、幼児教育と小学校教育のつながりの観点から課題を整理し、自分の考えをまとめておくこと。	2時間
第12回：指導案の作成Ⅰ（課題と研究を踏まえた保育の構想）		
事前学修	課題や研究テーマに応じた保育を構想してくること。	2時間
事後学修	講義を振り返りながら、保育の構想を見直し、まとめておくこと。	2時間
第13回：指導案の作成Ⅱ（模擬保育に向けた指導案の作成）		
事前学修	見直した保育の構想をもとに、指導案を作成すること。	2時間
事後学修	講義を振り返り、指導案を見直し完成すること。	2時間
第14回：指導案の作成Ⅲ（模擬保育の実践と評価）		
事前学修	作成した指導案をもとに、模擬保育を行う準備をすること。	2時間
事後学修	実践した模擬保育を振り返り、反省・評価を行いまとめておくこと。	2時間
第15回：保育現場における現代的課題からの考察		
事前学修	実際の保育を観察する際の視点を明確にしてくること。	2時間
事後学修	園を観察した内容について整理し、まとめておくこと。	2時間

試験等
試験のフィードバックの方法
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
『幼稚園教育要領解説』（平成30年3月 文部科学省） 『保育所保育指針解説』（平成30年3月 厚生労働省） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（平成30年3月 内閣府・文部科学省・厚生労働省） 『幼児教育地の探究16領域研究の現在〈人間関係〉』 友定啓子、青木久子（2017）萌文書林
オフィスアワー
水曜1限、金曜2限
連絡先
k.miyake@m.ndsu.ac.jp
留意事項

保育内容特論（表現）			単位数	2単位
授業コード	M4514	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第 1 期
担当者氏名	池田 尚子			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）				
本授業の概要				
本授業では、領域「表現」の中で、特に音楽表現に焦点をあてる。乳幼児期の子どもの発達と表現の特性を学び、感性や創造性を豊かにする表現遊びについて実践的に学ぶ。乳幼児期の表現活動を支援するための知識・技能・表現力を身につける。				
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ワーク		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	幼児の遊びや生活における領域「表現」の位置付けについて説明できる。		知識・技能	
2	協働して表現活動することを通して、様々な表現があることを知り、それに共感し、自己のより豊かな表現につなげていくことができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
3	様々な表現の基礎的な知識・技能を生かし、幼児の表現活動に展開することができる。		知識・技能／思考・判断・表現力／主体性	
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業中に出す課題・発表へ向けての取り組み 50%		1／2	
2	定期試験 50%		1／2／3	
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第1回：オリエンテーション 授業の概要及び授業展開について				
事前学修	自身の幼少期と音楽との関わりを振り返りまとめておく			2時間程度
事後学修	配布資料を読み、課題に取り組む			2時間程度
第2回：領域「表現」のねらい及び内容の理解				
事前学修	幼稚園教育要領の領域「表現」についての箇所をよく読み、理解を深める			2時間程度
事後学修	領域「表現」について、授業中の気づきを振り返り、レポートにまとめる			2時間程度
第3回：乳幼児期の年齢的な発達と表現の特性の理解				
事前学修	乳幼児期の音楽に関わる年齢的な発達について整理しておく			2時間程度
事後学修	乳幼児期の音楽に関わる年齢的な発達と、自身の音楽との関わりについてまとめておく			2時間程度
第4回：身近な環境との関わりにおいて育まれる音楽的感性と表現				
事前学修	日常生活においての子どもの音楽的表現について、自身の経験からまとめておく			2時間程度
事後学修	幼稚園教育要領の「表現」のねらい及び内容を読み込み、様々な音楽表現について考察する			2時間程度
第5回：身の周りの楽器を使った表現活動				
事前学修	身の回りにある様々な楽器について調べ、どのような表現活動が考えられるか考察する			2時間程度
事後学修	子どもの表現活動についての適切な支援、援助を行うために必要だと考えられることをまとめる			2時間程度

第6回：わらべうた遊びや手遊び歌から育まれる音楽的感性と表現		
事前学修	自身の歌との関わり（わらべ歌・童謡等）についてまとめる	2時間程度
事後学修	唱歌、童謡、わらべ歌の歩みについてまとめる	2時間程度
第7回：より豊かな表現活動に向けて（合唱・合奏）		
事前学修	課題曲について、練習を繰り返し行う 子どもの歌、合奏曲について、どのような曲があるか調べまとめる	2時間程度
事後学修	課題以外の曲についても、練習に励む	2時間程度
第8回：ごっこ遊びや劇遊びを通して育まれる感性と表現		
事前学修	自身が経験したごっこ遊び、劇遊びについて整理しておく	2時間程度
事後学修	ごっこ遊びや劇遊びにはどのようなものがあるかを調べ、年齢に応じた劇遊びを考える	2時間程度
第9回：保育者の受け止めと援助について		
事前学修	保育者に求められる役割について考える	2時間程度
事後学修	子どもの感性を育む保育者の役割についてまとめる	2時間程度
第10回：総合的な表現（オペレッタ作り） 台本の検討（絵本や物語の選定・台本の作成・役決め）		
事前学修	絵本や、昔話を基に台本を考える	2時間程度
事後学修	自分の選んだ題材を基に台本を完成させる	2時間程度
第11回：総合的な表現（オペレッタ作り） 音楽の創作（効果音の創作・楽器の選択）		
事前学修	劇中に使用する音楽を考え、楽譜や楽器を準備する	2時間程度
事後学修	劇中に使用する音楽の練習を繰り返し行う	2時間程度
第12回：総合的な表現（オペレッタ作り） 音楽の選曲（劇にふさわしい歌唱教材の選曲・作曲）		
事前学修	劇中に使用する歌を考え、楽譜を準備し練習を始める	2時間程度
事後学修	劇中に使用する歌の練習を繰り返し行う	2時間程度
第13回：総合的な表現（オペレッタ作り） 道具・衣装等の制作		
事前学修	必要な道具、材料を準備する	2時間程度
事後学修	道具・衣装を完成させる	2時間程度
第14回：総合的な表現 発表に向けての練習（合奏・合唱）		
事前学修	発表に向けて繰り返し練習を行う	2時間程度
事後学修	授業中の課題を踏まえ、発表に向けて繰り返し練習を行う	2時間程度
第15回：総合的な表現 発表 定期試験		
事前学修	前回の授業中の課題を踏まえ、発表に向けて繰り返し練習を行う	3時間程度
事後学修	発表の振り返りを行う	1時間程度

試験等
定期試験
試験のフィードバックの方法
定期試験終了後にフィードバックを行う。
必携書（教科書販売）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
使用しない。
必携書・参考書（教科書販売以外）
書籍名／著者／発売元出版社／価格／ISBN／媒体種別・備考
「聴く・表現する 音楽力を育む！」（熊澤住子・池田尚子著、マザーアース株式会社） 「こどものうた200」（小林美実編、チャイルド本社） 「続・こどものうた200」（小林美実編、チャイルド本社）
オフィスアワー
授業中に指示する。
連絡先
hisako.i@m.ndsu.ac.jp
留意事項
日頃から優れた音楽に注意深く耳を傾けるように心がけてほしい。

学校心理学特論				単位数	2単位
授業コード	M4520	科目ナンバリング		開講年度学期	2025年度第 1 期
担当者氏名	多田 志麻子				
時間割備考					
授業形態（主）	1 講義				
授業形態（副）					
担当形態	単独				
研究分野（大学院）	臨床心理学				
本授業の概要					
学校心理学の理論や学校教育において一人ひとりの児童生徒が出会う不登校、問題行動、発達障害などの問題状況を学ぶ。また、問題状況の解決を援助し、児童生徒が成長することを促進する心理教育的援助サービスについて理論と実践の両側面から考える。					
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション			
到達目標				対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	児童生徒の問題を解決するために行う教師・保護者・カウンセラーの連携、児童生徒への援助、学校や社会の資源の活用などの心理教育的援助サービスについて理解し、説明できる。				
2	心理教育的援助サービスを実践できる。				
3					
4					
5					
成績評価の基準				対応する到達目標の番号	
1	授業での発表・討論への参加（40%）			1／2	
2	レポート課題（60%）			1／2	
3					
4					
5					
実務経験のある教員による授業科目		実務あり			
実務経験の授業への活用方法					
担当者自身が臨床心理士・公認心理師として教育相談で実践した心理臨床経験を活用する					
日本語以外の言語による授業					
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間			
第 1 回：学校心理学とは					
事前学修	学校心理学の定義や活動について関連書籍を読み、疑問点をまとめておくこと			2 時間	
事後学修	学校心理学の定義や活動について学習内容を振り返ってまとめておくこと 学校心理学の定義や活動について関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめておくこと			2 時間	
第 2 回：学校心理学における 3 段階の心理教育的援助サービス					
事前学修	学校心理学における 3 段階の心理教育的援助サービスの関連書籍を読み、疑問点をまとめておくこと			2 時間	
事後学修	学校心理学における 3 段階の心理教育的援助サービスの学習内容を振り返ってまとめておくこと 3 段階の心理教育的援助サービスのヘルパーの役割について関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめておくこと			2 時間	
第 3 回：学校心理学と近辺領域との異同					
事前学修	学校心理学と近辺領域との異同について関連書籍を読み、疑問点をまとめておくこと			2 時間	
事後学修	学校心理学と近辺領域との異同について学習内容を振り返ってまとめておくこと 学校心理学と近辺領域との異同について関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめておくこと			2 時間	
第 4 回：児童・生徒のアセスメント					
事前学修	児童・生徒の心理教育的アセスメントの関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめておくこと			2 時間	
事後学修	児童・生徒の心理教育的アセスメントの学習内容を振り返ってまとめておくこと 児童・生徒の心理教育的アセスメントについて関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめておくこと			2 時間	
第 5 回：学校のアセスメント					
事前学修	学校のアセスメントについて関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめておくこと			2 時間	
事後学修	学校のアセスメントについて学習内容を振り返ってまとめておくこと 学校のアセスメントについて関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめておくこと			2 時間	

第 6 回：不登校の理解		
事前学修	不登校について関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	不登校について学習内容を振り返ってまとめること 不登校について関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること	2 時間
第 7 回：不登校への援助・介入		
事前学修	不登校の児童生徒・保護者への援助について関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	不登校の児童生徒・保護者への援助について学習内容を振り返ってまとめること 不登校の児童生徒・保護者への援助について関連書籍や実践事例を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめること	2 時間
第 8 回：発達障害の理解		
事前学修	発達障害について関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	発達障害の特徴や学校教育のなかでの取り組みについて学習内容を振り返ってまとめること 発達障害について関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること	2 時間
第 9 回：発達障害の援助・介入		
事前学修	発達障害の児童生徒・保護者への援助について関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	発達障害の児童生徒・保護者への援助についての学習内容を振り返ってまとめること 発達障害の児童生徒・保護者への援助について関連書籍や実践事例を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめること	2 時間
第 10 回：問題行動、精神疾患の理解		
事前学修	児童・生徒の問題行動とその背景（精神疾患含）について関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	児童・生徒の問題行動とその背景について学習内容を振り返ってまとめること 児童・生徒の問題行動とその背景について関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること	2 時間
第 11 回：問題行動、精神疾患の援助・介入		
事前学修	問題行動や精神疾患の児童・生徒への援助や他機関との連携について関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	問題行動や精神疾患の児童・生徒への援助や他機関との連携についての学習内容を振り返ってまとめること 問題行動や精神疾患の児童・生徒への援助や他機関との連携について関連書籍や実践事例を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめること	2 時間
第 12 回：学校教育現場へのコンサルテーション		
事前学修	学校教育現場へのコンサルテーションについて関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	学校教育現場へのコンサルテーションについて学習内容を振り返ってまとめること 学校教育現場へのコンサルテーションについて関連書籍を読み直して、興味が深まった部分をまとめること	2 時間
第 13 回：危機介入と緊急支援		
事前学修	危機介入と緊急支援について関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	危機介入と緊急支援について学習内容を振り返ってまとめること 危機介入と緊急支援について関連書籍や実践事例を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめること	2 時間
第 14 回：学校心理士と倫理、守秘義務		
事前学修	学校心理士としての倫理や守秘義務について関連書籍や論文を読み、疑問点をまとめること	2 時間
事後学修	学校心理士としての倫理や守秘義務について学習内容を振り返ってまとめること 学校心理士としての倫理や守秘義務について関連書籍を読み直して、理解が深まった部分や疑問点をまとめること	2 時間
第 15 回：今後の課題 レポート提出		
事前学修	学校教育の場に存在する不登校、問題行動、発達障害などの問題を支援するため、心理教育的援助サービスの担う役割や今後の課題について関連書籍や論文を読み、レポートにまとめること	2 時間
事後学修	心理教育的援助サービスの担う役割や今後の課題について学習内容を振り返ってまとめること 心理教育的援助サービスの担う役割や今後の課題について関連書籍を読み直して、理解が深まった部分をまとめること	2 時間

心理検査特論			単位数	2単位
授業コード	M4530	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第1期
担当者氏名	中内 みさ			
時間割備考				
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）	2 演習			
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	専門関連科目			
本授業の概要				
心理教育アセスメントに関して、基礎的な知識や実施する際の留意点などを理解する。また、知能理論や知能検査全般、特別支援のためのアセスメントを理解する。特に、WISC-Vに関して、Essential of WISC-V Assesssment（(Flanagan,D.P.&Alfonso,V.C.）を参考にWISCの歴史の変遷や理論、実施方法や分析・解釈などに関して理解を深める。さらに、事例を基に、WISC-Vが現場でどのように実施されているのか、結果をどのように解釈しどのように伝えているのか、支援にどのように反映するのかを検討する。				
アクティブラーニングの実施内容		グループ・ディスカッション		
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/ 2 思考・判断・表現力/ 3 主体性）	
1	学校心理学における心理教育アセスメントの目的や意義、検査バッテリーの組み方などについて説明できる。			
2	心理尺度測定において、信頼性や妥当性の重要性や測定方法などを説明することができる。			
3	知能や知能検査に関して、主な理論を説明できる。			
4	実施法などWISC-Vの概要を説明することができる。			
5	WISC-Vの結果を解釈し、それに基づいて支援の方針を提案できる。			
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	発表（40％）			1／2／3／4／5
2	討論への積極的参加（30％）			1／2／3／4／5
3	レポート（30％）			4／5
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧		事前・事後学修内容と時間		
第 1 回：心理教育アセスメントの意義と目的				
事前学修	心理教育アセスメントとは何かを調べてまとめておく（2時間程度）。			
事後学修	授業で得た知見をまとめ、それに関してコメントする（2時間程度）。			
第 2 回：心理尺度測定の基礎的知識（信頼性、妥当性など）				
事前学修	信頼性、妥当性に関して調べてまとめる（2時間程度）。			
事後学修	授業で得た知見をまとめ、それに関してコメントする（2時間程度）。			
第 3 回：心理教育アセスメントの基礎的知識（検査者の条件、バイアスなど）				
事前学修	テスト・バッテリーに関して調べてまとめておく（2時間程度）。			
事後学修	授業で得た知見をまとめ、それに関してコメントする（2時間程度）。			
第 4 回：知能理論				
事前学修	知能とは何か、調べてまとめておく（2時間程度）。			
事後学修	授業で得た知見をまとめ、それに関してコメントする（2時間程度）。			
第 5 回：知能検査の歴史				
事前学修	ビネー知能検査に関して調べてまとめておく（2時間程度）。			
事後学修	WISCに関してまとめる（2時間程度）。			

第 6 回：特別支援のためのアセスメントに関して		
事前学修	特別支援教育で行われている心理教育アセスメントに関して調べてまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	授業で得た知見をまとめ、それに関してコメントする（2時間程度）。	
第 7 回：WISCの解釈の歴史		
事前学修	文献の指定された箇所を読み、発表できるように概要や疑問点をまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見をまとめて、それに関してコメントする（2時間程度）。	
第 8 回：WISC-Vの信頼性と妥当性		
事前学修	文献の指定された箇所を読み、発表できるように概要や疑問点をまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見をまとめて、それに関してコメントする（2時間程度）。	
第 9 回：WISC-Vの構成とプロセス得点		
事前学修	文献の指定された箇所を読み、発表できるように概要や疑問点をまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見をまとめて、それに関してコメントする（2時間程度）。	
第 10 回：下位検査の概要		
事前学修	文献の指定された箇所を読み、発表できるように概要や疑問点をまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見をまとめて、それに関してコメントする（2時間程度）。	
第 11 回：WISC-Vの実施		
事前学修	文献の指定された箇所を読み、発表できるように概要や疑問点をまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見をまとめて、それに関してコメントする（2時間程度）。	
第 12 回：WISC-Vの結果の分析と解釈 1（プロフィール分析、VCI、PSI、WMI、PSI）		
事前学修	文献の指定された箇所を読み、発表できるように概要や疑問点をまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見をまとめて、それに関してコメントする（2時間程度）。	
第 13 回：WISC-Vの結果の分析と解釈 2（評価）		
事前学修	文献の指定された箇所を読み、発表できるように概要や疑問点をまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見をまとめて、それに関してコメントする（2時間程度）。	
第 14 回：事例から考える 1（結果の伝え方を中心に）		
事前学修	WISC-Vを使った先行研究を探索し、発表できるようにレジュメにまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見をまとめて、それに関してコメントする（2時間程度）。	
第 15 回：事例から考える 2（支援計画の立て方を中心に）		
事前学修	支援計画に関する先行文献を読み、発表できるようにレジュメにまとめておく（2時間程度）。	
事後学修	討論で得た知見をもとに第14回で用いた事例の支援計画を立てる（2時間程度）。	

教育心理学特論			単位数	2単位
授業コード	M4550	科目ナンバリング	開講年度学期	2025年度第2期
担当者氏名	湯澤 正通			
時間割備考	集中講義			
授業形態（主）	1 講義			
授業形態（副）				
担当形態	単独			
研究分野（大学院）	専門関連科目			
本授業の概要				
教育心理学の様々な理論や研究方法を踏まえ、現代社会の教育を批判的に見るための視点を深め、効果的な教育が成立するための認知的、社会的、文化的環境について議論する。				
アクティブラーニングの実施内容				
到達目標			対応するディプロマポリシー （1 知識・技能/2 思考・判断・表現力/3 主体性）	
1	子どもの考える力と言語力の育成、学習意欲などの現在の教育テーマに焦点をあて、相互作用アプローチを受講生自身が実践することで、教育心理学の視点から考える力を身につけることを目標とする。			
2				
3				
4				
5				
成績評価の基準			対応する到達目標の番号	
1	授業（話し合い）への積極的な参加の程度、およびそれぞれの学習テーマに関して、授業中に述べられた意見・出席状況等を勘案して評価する。			
2				
3				
4				
5				
実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の授業への活用方法				
日本語以外の言語による授業				
授業予定一覧			事前・事後学修内容と時間	
第 1 回：イントロダクション：教育心理学とは				
事前学修				
事後学修				
第 2 回：現在の教育の課題（言語力）について考え、話し合う				
事前学修				
事後学修				
第 3 回：社会の変化に対応する能力・資質：教育目標				
事前学修				
事後学修				
第 4 回：社会の変化に対応する能力・資質：ニュージーランドを事例として				
事前学修				
事後学修				
第 5 回：考える力（活用力）、言語力、自己教育力をどのように育てるのか：認知的アプローチ、記憶と理解				
事前学修				
事後学修				

第 6 回：考える力をどのように育てるのか：相互作用アプローチ，動機づけ		
事前学修		
事後学修		
第 7 回：グループ間の交流と意見の多様化を促進する学級経営：ジグソー法の理論と実践		
事前学修		
事後学修		
第 8 回：考える力についての視点 1-自己制御学習，科学的リテラシー，教えて考える授業，活用力		
事前学修		
事後学修		
第 9 回：考える力についての視点 2-自己制御学習，科学的リテラシー，教えて考える授業，活用力		
事前学修		
事後学修		
第 10 回：21 世紀スキルを育む視点 1：アン・ブラウン，ブランスフォード，スカーダマリア		
事前学修		
事後学修		
第 11 回：21 世紀スキルを育む視点 2：アン・ブラウン，ブランスフォード，スカーダマリア		
事前学修		
事後学修		
第 12 回：21 世紀スキルを育む視点 3：アン・ブラウン，ブランスフォード，スカーダマリア		
事前学修		
事後学修		
第 13 回：現在の教育の課題（発達障害）について考え，話し合う		
事前学修		
事後学修		
第 14 回：ワーキングメモリ理論からの児童生徒の学習支援（1）		
事前学修		
事後学修		
第 15 回：ワーキングメモリ理論からの児童生徒の学習支援（2）		
事前学修		
事後学修		

